

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道17号 <small>まえはししかわ</small> 前橋渋川バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 関東地方整備局
起終点 自： <small>くまげんまえはしたくちちょう</small> 群馬県前橋市田口町 至： <small>くまげんししかわしほんだ</small> 群馬県渋川市半田	延長 5.7km	
事業概要 前橋渋川バイパスは、一般国道17号の群馬県前橋市田口町から渋川市半田に至る延長約5.7kmの4車線バイパス整備事業である。本バイパスの整備により、半田交差点や真壁交差点付近で発生する交通混雑を解消し、地域の活性化を図ると共に、群馬県中央部の道路ネットワークの強化を図るものである。		
H8年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手
H16年度工事着手		
全体事業費	約452億円	事業進捗率 78%
計画交通量	37,100～48,900台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 101/465億円
	(残事業) 10.1	(事業費) 84/448億円 (維持管理費) 17/17億円
		総便益 (残事業)/(事業全体) 1,013/1,013億円
		走行時間短縮便益：880/880億円 走行費用減少便益：102/102億円 交通事故減少便益：32/32億円
		基準年 平成20年度
感度分析の結果 事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】 交通量：B/C=2.0～2.4（交通量±10%） 事業費：B/C=2.0～2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.7～2.9（事業期間±20%） 【残事業】 交通量：B/C=9.1～11.1（交通量±10%） 事業費：B/C=9.3～11.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=8.5～12.0（事業期間±20%）		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞緩和により混雑多発箇所の解消が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（前橋市へアクセス向上が見込まれる）（他7項目に該当）		
関係する地方公共団体等の意見 ・国道17号前橋渋川バイパス建設促進期成同盟会：整備促進要望		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 利根川を渡河する板東橋の付近では、渋滞が激しく夕ピーク時の平均通過速度は、15km/hになっており、バイパス整備が必要。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率は約99%であり、バイパス部については、平成21年度の暫定2車線供用を目的に工事を進める。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現道拡幅部についても早期の完成供用を目指し工事を推進。 バイパス部の4車線化については、起点部に取り付く上武道路の整備状況・交通状況をみながら推進。		
施設の構造や工法の変更等 暫定2車線により整備を進め、コスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 用地・工事の進捗が進んでおり、早期の効果発現を図ることが適切である。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。